

山田みやこの活動報告

令和3年5月18日（火）

「令和3年度地域共生社会推進フォーラム」に参加

会場 栃木県総合文化センター
講師 中央大学法学部 教授 宮本 太郎氏

「地域共生社会を推進する背景と課題」

1. なぜ今、地域共生社会か

2020年から2040年へ向けて元気人口を増やすため。現役世代は1,700万人減少。さらに非正規化、低所得化等により「非力」になっていく。「新しい生活困難層」が増大し支援が届かない。

2. 元気人口を増やす福祉への転換こそ打開への道

三要素

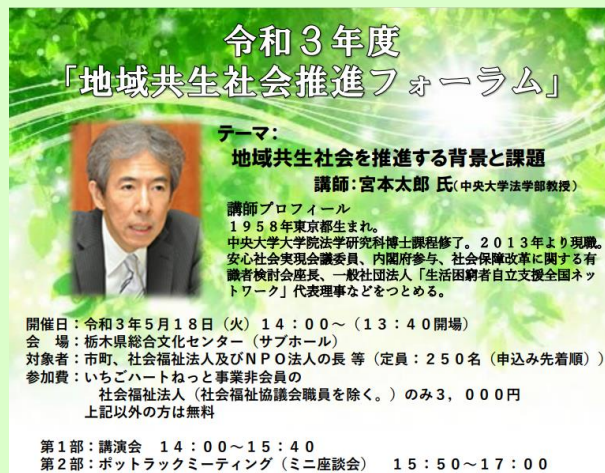
- ①包括的な相談支援
- ②機関間の調整、場へつなぐ(参加支援)
- ③元気になる場作り(地域づくり支援)

3. 地域共生社会のかたちは地域の数だけある

「ご当地モデル」を栃木から

4. 国・自治体・事業者・当事者間の信頼関係を構築

地域包括支援センターを包括的相談支援の場に



令和3年度
「地域共生社会推進フォーラム」

テーマ：
地域共生社会を推進する背景と課題
講師：宮本太郎氏（中央大学法学部教授）

講師プロフィール
1958年東京都生まれ。
中央大学大学院法学研究科博士課程修了。2013年より現職。
安心社会実現会議委員、内閣府参与、社会保障改革に関する有識者検討会座長、一般社団法人「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」代表理事などをつとめる。

開催日：令和3年5月18日（火）14：00～（13：40開場）
会場：栃木県総合文化センター（サブホール）
対象者：市町、社会福祉法人及びNPO法人の長等（定員：250名（申込み先着順））
参加費：いちごハートねっと事業非会員の社会福祉法人（社会福祉協議会職員を除く。）のみ3,000円
上記以外の方は無料

第1部：講演会 14：00～15：40
第2部：ポットラックミーティング（ミニ座談会） 15：50～17：00